

(町長提案理由の説明)

本日ここに、令和8年金山町議会第2回定例会を招集しましたところ、議員皆様のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。また、日頃より町政にご尽力頂いておりますことに対しまして、深く敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

本日、令和8年度当初予算案及び諸議案を提案いたしました。以下そのあらましについて説明いたしますが、それに先立ち、町政運営に関する報告と所信の一端を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様の御理解と御協力をお願いするものであります。

始めに、物価高騰対策についてであります。昨年第8回臨時会で決定頂きました食料品高騰対応町民生活応援臨時給付金については、2月中に給付がほぼ完了いたしました。物価高対応子育て応援手当給付金、物価高騰等社会福祉施設支援給付金については、準備が整い次第、速やかに給付を完了させる予定であります。また、下期分として発行したプレミアム付き商品券も既に完売しており、消費の下支えを通じた物価高騰対策に寄与しているものと思っております。

次に、豪雪対策についてであります。1月13日に積雪量が1mを越えたことから金山町豪雪対策本部を設置いたしました。気象庁の金山観測所においても2月1日に最大積雪深1m96cmを記録しております。昨年の2m35cmには及びませんが、連続した降雪により住宅屋根の軒先が破損するなどの被害が発生しております。今のところ大規模な被害は確認されておりませんが、引き続き民生児童委員、区長さんを始め多くの方々に地区の見廻りを行って頂きながら、生活道路の確保、被害の情報収集、そして高齢者世帯等の除排雪支援に当たって参りたいと考えております。また、住宅除雪においては、ボランティアの方々にもご協力を頂いておりますこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

次に、観光交流についてであります。1月24日から27日までの4日間、副町長を団長として台湾台北市、金山区で台湾プロモーション活動を行いました。福島県、奥会津振興センター、只見町、柳津町と協力し、総勢30名を超える大所帯で金山町の魅力やJR

しんぺい

只見線等のPR、そして交流を実施して参りました。新北市金山区の区長さんからは、「今年はぜひ金山町を訪れたい」という声も頂きましたので、今後も継続して交流を図って参ります。

また、2月15日には、「会津かねやま雪まつり」を実施いたしました。私の言いたいこと発表会や老人作品展示会、ゲーム大会、ステージショーなどと併せ、20店を超える飲食店の出店を頂きました。来場者は、2千名近くに上り、町民同士の交流や関係人口・交流人口の拡大の一助になったと感じております。何よりも寒く暗い冬の日が、暖かく明るい一日になったことは、町民にとってとても良いことだと感じたところであります。

次に、衆議院議員総選挙についてであります。1月末の解散、2月8日の投開票と大変急な選挙であり、選挙管理委員会においても短期間の準備や降雪期の対応など、大変なご苦労があったものと思いますが、有権者の投票行動が容易になるよう種々工夫して頂きました。結果については、皆様ご承知のとおりであり、1日も早い新年度予算の成立とそれぞれ公約された施策の実現に期待し、早急に次の物価高騰等対策を始め、安心安全な国造り、地方創生に取り組んで頂き、少子高齢化対策、東京一極集中の是正を進めて頂きたいと願っております。

次に、令和8年度当初予算の提案に当たり、町政運営に対する基本方針と施策の概要を申し上げたいと思います。私は、町政を進めるにあたり「安全・安心な生活環境の実現」「地域資源を活かした産業の振興」「次代を担う若者・子育て世代への支援」の3つを柱として取組んで参りました。令和8年度は、この3つの柱と総合計画に掲げる4つの重点プロジェクト「産業振興と雇用拡大、移住・定住・交流促進、みんなで子育て応援、健康づくりと支えあい」を総合的かつ戦略的に展開して参ります。この施策を着実に推進する必要がある中で、物価高騰、労務単価や人件費の上昇による経費の増加、自然災害に備えた防災力の強化など、多額の財政需要が生じておりますが、重点事業に最優先に予算配分を行いながら、持続可能な財政運営に配慮し、町民福祉の向上を目指して取組んで参ります。

それでは、令和8年度における事業の概要について申し上げます。

始めに、防災についてであります。

今年度も全国で多くの災害が発生いたしました。当町は新潟福島豪雨から15年が経過しようとしていますが、只見川の河川整備工事は、完了には至っておりません。すべての事業の進捗が目に見える形となることを心待ちにしております。そのような中で、災害などの非常時に対策本部となる役場庁舎に非常用発電設備を設置する計画であります。いつ起こるかわからない災害、局地的豪雨の影響による長時間の停電への備えとして、電力供給がストップしても災害対策本部が機能し、情報伝達手段となる防災無線やラジオ、かねやまネットテレビが機能停止することのないよう整備するものであります。

次に、移住定住についてであります。

国は、「地方創生2.0」の実現に向けた取組として、「関係人口」に着目し、住所地以外の地域に継続的に関わる方々を登録できる「ふるさと住民登録制度」の創設に向けて検討中です。今回、ふるさと住民登録事業として、予算計上させて頂きましたが、国の動向を注視しながら町独自の事業を検討し、関係人口の創出を図って参ります。

定住促進、少子化対策事業として、新たに若者交流ツアーを企画いたします。これは、今までの婚活イベント事業のほとんどが結果を出していないことを踏まえ、お見合いという形式にとらわれず、プロスポーツ観戦など若者同士が気軽に参加できる機会や交流の場を増やす取組であります。

次に、JR只見線についてであります。

現在、会津川口駅と只見駅間が上下分離方式で運行されており、維持管理費については、福島県と会津17市町村で負担をしております。負担金に関する覚書協定は令和8年度が期限となっており、諸物価や人件費の上昇による維持管理費の増加に伴い令和9年度以降の負担金が増額になることが想定されます。今後も只見線の運行が確実に行われるよう協議を進めて参ります。

また、JR会津川口駅、駅前の活性化については、事業の可能性について、JR東日本や福島県とともに構想を進めて参りました。当初予算には、直接的な経費は計上しておりませんが、令和8年度においては、様々な案の実現の可能性を検討し素案を作成したいと考えております。川口駅舎の活用だけでなく、駅前周辺を含め地域の活性化、只見線の待ち時間の解消、利用者の増加に繋がるよう事業計画を立案したいと考えております。

次に、町内で開発が進められようとしている地熱発電、系統用蓄電池についてであります。

今年度、地熱発電のポテンシャル調査が行われ、系統用蓄電池についても複数の事業者

から問い合わせがあります。町では、発電事業者と地域との紛争をあらかじめ防止し、当町の美しい自然環境や景観及び町民の安心・安全な生活環境の保全と再生可能エネルギー発電事業との調和を図るため、条件等を整理した上で、条例化を進めたいと考えております。

次に、農業についてであります。

令和8年度は、農地の集積、集約化を進めるため、田沢地区をモデル地区として畦畔除去による区画面積の拡大を図るための利用条件整備事業を行います。県の農業振興公社の事業を活用して、事業効果を踏まえながら、町内他地区に事業を拡大できるよう取組んで参りたいと考えております。

次に、建設事業についてであります。

昨年度から取組んでいる空冷堰改修事業が令和8年度をもって完成となります。これは、空冷堰の取水管理の電動化を行うもので、大雨時に空冷トンネルに流れ込む土砂が軽減される効果のある事業となっております。

緊急自然災害防止対策事業としては、冬期間の凍上災害により損傷した道路の舗装全面改修工事を行います。今年度に続き、令和8年度は3路線を予定しており、当該制度存続中は事業を継続して参りたいと考えております。

また、道路や町有地の草刈りを行うため、乗用型とラジコン型の町道管理用草刈機をそれぞれ購入いたします。町で管理を行いながら、町内各集落に貸し出しを行い、作業効率や適正な機械の能力などを調査しつつ、集落支援の可能性を模索しながら今後に繋げて参ります。

次に、教育についてであります。

かねやま小学校は、統合2年目を迎えます。現在、統合に対する児童の評価は「統合してよかった」というものであり、順調な学校生活となっております。金山中学校は、全校生徒9名の予定で、これまでにない最少人数での学校運営になります。義務教育課程として、基礎学力の定着はもとより、地域に根差した学校教育の充実に取組んで参ります。

以上、令和8年度の主な施策について申し上げます。これまで実施してきた取組を更に磨き上げ、より効率的・効果的な事業の構築と具体的な成果の創出に繋がるよう鋭意努力して参りたいと考えております。